

令和6年度地域活性化起業人活動報告

総務部 情報企画課
情報セキュリティアドバイザー 谷崎 公紀

R 6年度の対応（概要）

庁内にあるIT機器の調査と、調査の中で発見された課題への対応を実施。

庁内のIT機器調査

- ①盛岡市組織情報、市保有HPの整理
- ②ネットワーク構成図概要の作成
- ③情報機器インベントリの作成

情報セキュリティ知識向上

- ①全職員向け教育資料の見直し（内部監査時実施）
- ②情報企画課内セキュリティ研修

セキュリティ対策

- ①メール誤送信対策プログラムの修正
- ②脆弱性管理運用の導入
- ③情報セキュリティ対策基準の更新

R 6年度の対応詳細 -メール誤送信対策プログラムの修正-

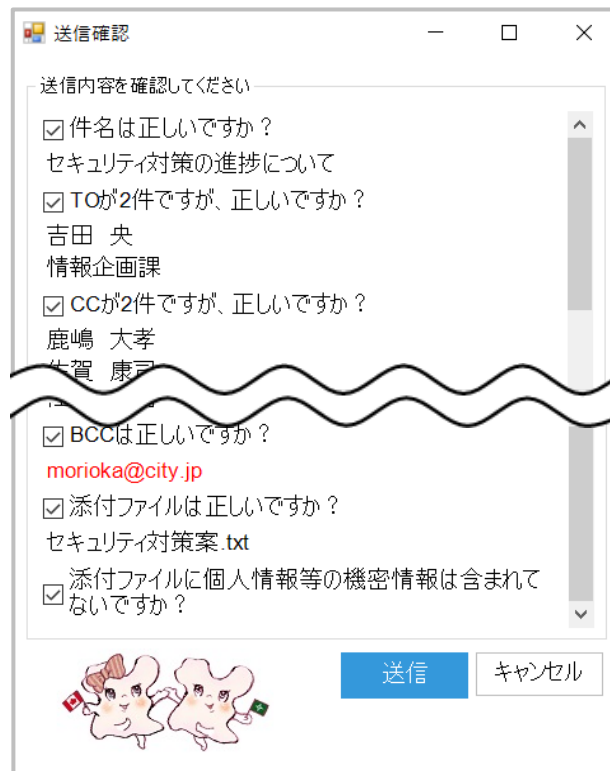
庁内でメールの誤送信の発生が何件か発生していたため、既存のメール誤送信対策プログラムに修正を加え、より誤送信が発生しにくいよう対策をしました。

令和6年12月の導入から現時点まででは、メールの誤送信は発生していません。

更新前：



更新後：



①件名、宛先、添付ファイルの項目欄に名称等が表示される

②宛先にはアドレス帳での登録名が表示される
(アドレス帳未登録の場合、宛先を赤文字で表示)

③すべての項目をチェックすると「送信」ボタンが有効となり、送信できる

R 6年度の対応詳細 -脆弱性管理運用の導入-

脆弱性とは、IT機器にあるセキュリティ上の弱点のことです。

盛岡市で導入しているIT機器に対して、定期的な確認により脆弱性を特定し、対応するプロセスを導入しました。概要は下記のとおりです。



参考：「脆弱性と対策のポイントとは？図解でわかりやすく解説」
<https://www.grcs.co.jp/staff-blog/20231019>

情報セキュリティアドバイザーとして・・・

盛岡市の目指す将来像「**輝きが増し 活力に満ち 夢をかなえるまち盛岡**」実現のため、
情報セキュリティアドバイザーとして、下記のようなことを実現していきたく思います。

理想のセキュリティ環境

激しく変化するIT、情報セキュリティの環境に適応し
安定した行政サービスの提供、行政事務システムの稼働を継続する

IT環境は、生成AIの普及をはじめ常に進化を続ける一方で、サイバー犯罪においても件数増加や手口の多様化など、サイバー犯罪者も常に進化していると考えます。

IT環境の激しい変化を察知し、庁内の情報システムに影響の有無を分析、評価した上で対応を行い、行政サービス、庁内の行政事務を実施するIT基盤を守り、目指すべき将来像の実現に寄与していきたくと思います。